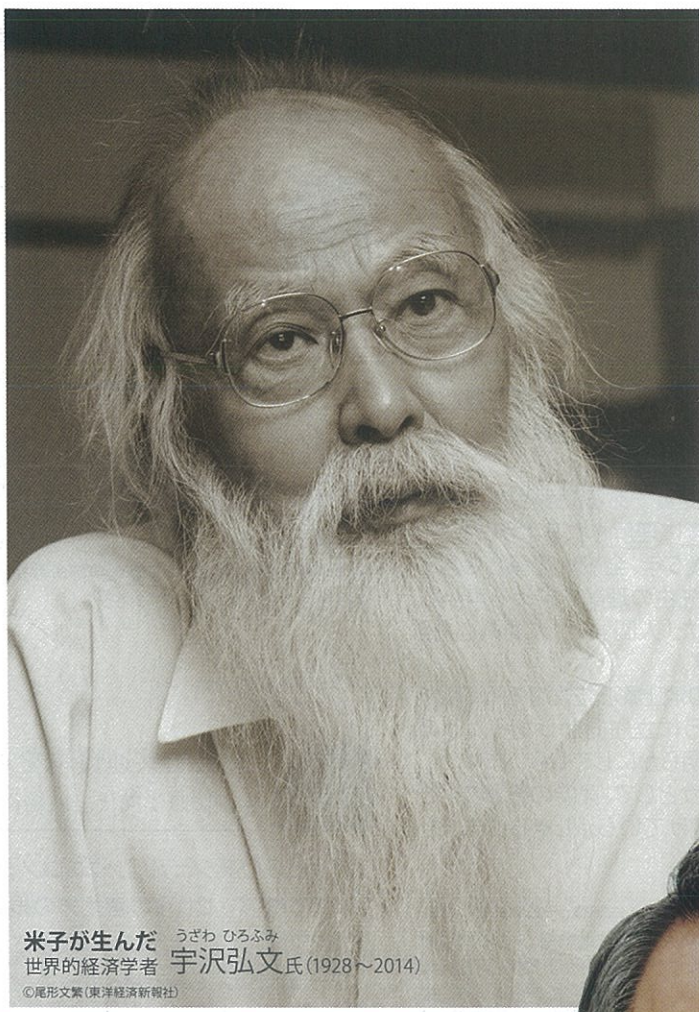


# 宇沢弘文

# 記念フォーラム

## 2019

人生を楽しくする経済学



米子が生んだ 世界的経済学者 宇沢弘文氏(1928~2014)  
うざわ ひろふみ  
©尾形文策(東洋経済新報社)

# 池上彰氏

## 特別講演

演題

# 宇沢弘文氏が提起したもの

## ～日本と世界から考える

自国第一主義がはびこる世界。

その背景には、宇沢氏が危惧し批判していた新自由主義の猛威がありました。

いまこそ宇沢氏が提起した「社会的共通資本」の観点から

日本と世界を見直してみましよう。

日時：2019年 **12月8日** 日  
13:30～16:30

チケット代  
**500円**

場所：**米子市公会堂** 鳥取県米子市角盤町2丁目61番地

定員：1100名

無料託児あり(裏面をご参照ください)  
手話通訳・要約筆記あり



先ずは  
知ってほしい  
よなご宇沢会

主催：よなご宇沢会

facebook  
よなご宇沢会

共催：米子市、NPO法人「本の学校」、子どもの人権広場

特別協賛： 中海テレビ放送

後援：鳥取県、鳥取大学、鳥取県西部医師会、鳥取大学医学部医師会、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町、鳥取県教育委員会、米子市教育委員会、鳥取県立図書館、米子商工会議所、鳥取県地方自治研究センター、宇沢国際学館

チケット販売所：米子市公会堂、米子市文化ホール、今井書店グループ一部店舗(本の学校今井ブックセンター(米子市)、境港店、倉吉店、吉成店(鳥取市)、グループセンター店(松江市))、北欧専門レインディア

お問い合わせ先：電話 0859-33-2007 FAX 0859-21-1755  
メール fujihara@reindeer.co.jp (レインディア・藤原、足立)  
※座席数に限りがありますので、お早目にお求めください。



ジャーナリスト **池上彰**

1950年、長野県生まれ。1973年、NHKに記者として入局。初任地は松江放送局。米子にもたびたび足を運ぶ。松江、奥の勤務の後、東京の報道局社会部。1994年から2005年まで「週刊こどもニュース」の「お父さん」。2005年、独立。現在は名城大学教授、東京工業大学特命教授、東京大学客員教授など9つの大学で教える。

# 「経済学の原点は人間、 人間でいちばん大事なのは、実は心なんだね。」

近代経済学の世界の頂点に立ちながら、自らの足場を打ち砕くようにその批判に転じ、「社会的共通資本」の理論構築によって新たな経済学を目指された宇沢弘文先生は、謎の異端の経済学者とも称せられました。

宇沢先生の死後5年、世界規模での経済、政治、社会構造の混乱、地球温暖化などに伴う自然災害の多発が驚くべき早さで進行しています。そして、格差の広がり、民族間の対立など、人々が分断されるなかで国家間の対立が激化し、混乱を収拾する糸口すら見いだせない状況が続き、明日をも知れないという不安が世界を覆っています。

宇沢先生の高弟でノーベル経済学賞受賞であるジョセフ・スティグリッツは「宇沢先生の考え方は30年後に理解されるようになる」と予言しました。しかし、宇沢先生の死後5年、全般的危機とも言うべき状況の中で、30年を待たずに宇沢先生の理論を求める声の広がりがつづきます。宇沢先生が目指された「人間」の、「人間の心」経済学は、日々その輝きを増しているのです。

今回のフォーラムでは、ジャーナリストの池上彰氏をお呼びし、私たちが直面している様々な困難にどのように立ち向かったらよいのか。その道標としての宇沢理論の役割を明らかにしてもらいます。

また、前回に引き続き、宇沢先生の長女として、医学の分野で「社会的共通資本」の具体的な形を模索し続けていらっしゃる占部まりさんの講演も予定しています。

宇沢 弘文(うざわ ひろふみ)：1928年、米子市生まれ。1951年東京大学理学部数学科卒業。ケネス・アローの招きでスタンフォード大学の研究員、後に助教授。シカゴ大学教授、東京大学経済学部教授、同学部長、その後新潟大学教授、中央大学教授、同志社大学社会的共通資本研究センター長などを歴任。1997年、文化勲章受章、米子市「市民栄光賞」を受賞。2014年9月18日、死去。主な著書に『自動車の社会的費用』『近代経済学の再検討』『近代経済学の転換』『成田とは何か』『二十世紀を超えて』『地球温暖化を考える』『日本の教育を考える』『ゆたかな国をつくる』『社会的共通資本』『経済学は人びとを幸福にできるか』『経済と人間の旅』など。

**米子市公会堂** 鳥取県米子市角盤町2丁目61番地 Tel.0859-22-3236

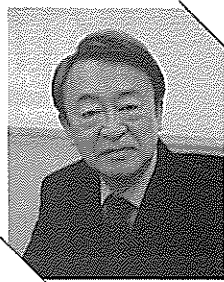
※駐車場に限りがございます。できるだけ交通機関をご利用ください。

## 宇沢弘文記念フォーラム2019 プログラム

講演 I 「宇沢弘文氏が提起したもの  
～日本と世界から考える」  
ジャーナリスト 池上 彰氏

自国第一主義がはびこる世界。その背景には、宇沢氏が危惧し批判していた新自由主義の猛威がありました。いまこそ宇沢氏が提起した「社会的共通資本」の観点から日本と世界を見直してみましよう。

池上 彰(いけがみ あきら)：ジャーナリスト。1950年、長野県生まれ。1973年、NHKに記者として入局。初任地は松江放送局。米子にもたびたび足を運ぶ。松江、呉の勤務の後、東京の報道局社会部。1994年から2005年まで「週刊こどもニュース」の「お父さん」。2005年、独立。現在は名城大学教授、東京工業大学特命教授、東京大学客員教授など9つの大学で教える。



講演 II 「社会的共通資本を未来へ。」  
宇沢国際学館代表取締役 占部 まり 氏

SDGs, ESG, CSR, シェアリングエコノミー、様々な横文字の概念が注目されています。これらの考え方の根元に通底するのが、社会的共通資本ではないでしょうか。「ゆたかさ」を未来につなぐためにできることを一緒に考えてみませんか。

占部 まり(うらべ まり)：内科医。宇沢国際学館代表取締役。日本メント・モリ協会代表理事。内科医として地域医療に従事する傍ら、父、宇沢弘文の理論をより多くの人に知っていただくために活動をしている。今年は、日経SDGsフォーラムとして、2月25日に「自然資本と社会的共通資本」、5月9日に「社会的共通資本と医療」を共催。6月に行われたG20への政策提言を行うために開催された医療者の国際会議でも登壇し、活動を世界へと広げている。より多くの人へわかりやすく伝えるということで、ホームページの充実や動画の配信なども計画している。NPO法人 宇沢国際学館を立ち上げ、より社会的な活動を目指している。



トークセッション  
池上 彰氏 vs 占部 まり 氏 vs よなご宇沢会

日頃から宇沢弘文の理念を学ぶ「よなご宇沢会メンバー」。地元市民の代表として質問や意見交換をしながら、これからの山陰を語り合いたいと思います。

よなご宇沢会についてはこちらから  
facebook よなご宇沢会



**無料託児サービス**  
希望される方は**11/22(金)**までに  
**0859-33-1019**(子どもの人權広場・安田)へお申込みください。  
※フォーラムへの申込みは別途下記の通りお願いします。

**チケット販売所** チケット代：**500円**(税込・当日同額) 全席自由  
米子市公会堂、米子市文化ホール、今井書店グループ一部店舗  
(本の学校今井ブックセンター(米子市)、境港店、倉吉店、吉成店  
(鳥取市)、グループセンター店(松江市))、北欧専門レインディア

**お問い合わせ先**  
電話 **0859-33-2007** FAX 0859-21-1755  
メール [fujihara@reindeer.co.jp](mailto:fujihara@reindeer.co.jp) (レインディア・藤原、足立)  
※座席数に限りがありますので、お早目にお求めください。